

学 校 名	山形市立高瀬小学校	校 長	金 子 孝 宏
	山形市大字下東山1264番地 TEL686-2264 FAX686-4184	研究主任	白 旗 慧
研 究 主 題	<b>健やかでたくましい 高瀬っ子の育成</b> ～自他の高まりを表現することを通して、技能の質を向上させる子供を目指して～ (4年次)		
研 究 主 題 設 定 の 理 由 と 目 標	<p><b>学校教育目標</b></p> <p>本校では、「やさしく かしこく たくましく ～チャレンジ～」を教育目標に掲げ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自他を認め合う子供」&lt;やさしく&gt;</li> <li>・「学びを活かせる子供」&lt;かしこく&gt;</li> <li>・「自分をより良くする子供」&lt;たくましく&gt; を目指し、児童の育成にあたっている。</li> </ul> <p><b>本校児童の課題と研究について</b></p> <p>本校は、明るく活動的な子供が多く、学年を越えた交流も大変盛んである。そのため、休み時間にはグラウンドや体育館に出て体を動かして遊んだり、異学年の児童でチームを組んでサッカーやドッジボール等の運動に親しんだりしている姿がたびたび見られる。体育学習への取り組みも総じて意欲的である。その一方で、少人数単学級での同じ人間関係内の生活が続き、他者に伝える力や気持ちの切り替え、最後まで粘り強くやり遂げる力などに課題がある。</p> <p>これらの児童の実態を踏まえて、体育学習を主題に迫る手段の主軸に据え、できた喜びや粘り強く取り組んでやり遂げた喜びを味わわせること、適切な自己表現を通してより良く仲間と関わる楽しさや喜びを味わわせることを願い、本主題を設定し、主題に迫る手段として体育学習を主軸に研究を進めることにした。</p> <p><b>これまでの研究の成果から</b></p> <p>これまで、研究主題である「健やかでたくましい高瀬っ子の育成」を目指し、「体育学習・健康学習の授業づくり」と「生活リズムの改善と運動の日常化」を2つの柱として実践を重ねてきた。</p> <p>授業では、子供の意識に沿った単元構成、場づくり、ルールづくり等を工夫することによって、夢中になって運動するようになり、主体的に学びに向かう子供の姿が見え、自然な関わりの中で学びを深めていく授業づくりの成果をあげてきた。子供が本気になって取り組めるもの、関わり合いや仲間づくりに適したものという観点から、「ゲーム」(1年～4年)と「ボール運動」(5・6年)の領域に絞って授業研究を行ってきた。令和2年度からは、さらに、『関わり・表現』に重点を置き、「ゲーム」(1～4年)・「ボール運動」(5・6年)に「器械運動(器械・器具を使つての運動遊び)」の領域を加え、この2領域で研究を行ってきた。</p>		

<b>研 究 の 内 容</b>	<p>(1) 授業づくりについて</p> <p>「主体性」と「関わり・表現」を中心に子供の姿を見取り、子供の姿を通して授業づくりを進める。授業づくりの際は、領域の特性に触れ、体育の楽しさを味わわせることはもちろんのこと、目指す子供の姿を念頭に置き、子供の実態をとらえ、主体的に学ぶための様々な支援や、必要感のある子供同士の関わらせ方について研究を深めていく。さらに、対話的で深い学びになるような単元構成や場の設定、ルール等の工夫も研究を進めていく。体育科での関わりとは、他教科とは異なり、言語表現の他に身体表現を用いての関わりも考えられる。技能の向上や運動遊びの広がり・深まりが達成される関わりになるよう、タイミング・教師の手立て等を、校内研究を通して探っていく。また、子供の主体的な学びにつながるような評価・振り返りの活用についても探っていく。さらに、子供の姿の見取りを大切に、「学びの履歴」の中で子供の姿からより効果的な手立てを探り、分析していく。</p> <p>(2) 健康学習（学級活動）について</p> <p>今までの実践を生かし、今年度も継続して、全校で取り組んでいく。「生活リズムカード」の結果や日常生活のすごし方について、学年や自分のめあてをもとに、自分の生活を振り返り、自分ごととして考えさせる手立てをとりながら、よりよい生活を築くことができる授業を行っていく。</p> <p>(3) 「生活リズムの改善」と「運動の日常化」について</p> <p>今年度も、「生活リズムの改善」と「運動の日常化」を、授業を支える土台として、これまでの実践を基に取り組んでいく。「生活リズムの改善」については、今年度も「生活リズムカード」を使った生活リズム調査を実施する。また、「チャレンジアウトメディア」の取り組みで、メディアとの向き合い方を家庭とともに考えていく。</p> <p>「運動の日常化」については、楽しく関わり合う活動や様々な運動を体験させる取り組みを継続して行っていく。業間のスポーツタイム、全校マラソンタイム、なわとび週間、大縄跳び大会などの体育的活動を、子供が主体的に取り組めるように支援しながら実践を積み重ねていく。</p>
<b>目 指 す 子 供 の 姿</b>	<p>これまでの成果と課題を踏まえ、目指す子供の姿を次のように設定する。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のめあてをもち、主体的に学び続ける子供</li> <li>○自他の高まりを表現しながら、共に学び合う子供</li> </ul> </div> <p>目指す子供の姿にせまるために、体育学習「ゲーム・ボール運動」「器械運動・器械器具をつかった運動遊び」の授業実践を中心に取り組んでいく。</p>

<b>研 究 の 方 法</b>	<p><b>(1) 授業実践</b></p> <p>&lt;授業づくりの柱&gt;</p> <p>目指す子供の姿を念頭におきながら、子供の実態をとらえ、仲間と関わり、主体的な学びのある授業づくりを行う。その上で教科の本質をとらえ、内容を吟味して授業づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供の意識に沿った課題づくり・単元構成の工夫</li> <li>○夢中になって運動できる場の設定やルール工夫</li> <li>○キーワード（技能・運動遊びのポイント）を使った伝え合いの場面の設定</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">→ <b>自分の良さや成長の意識化</b>      <b>仲間の良さや成長を伝える・アドバイスする</b></p> <p><b>(2) 目指す子供の姿の具体化</b></p> <p>目指す子供の姿について、発達段階に応じて「学習の中で期待する子供の具体的な姿」を設定している。校内研究会で、その妥当性も含めて検討し、そこから全教職員で目指す子供の姿についての共通理解を図る。ゴールの姿をイメージして、それが達成されるような課題をつくり、手立てをとって授業づくりを進める。また、「学習の中で期待する子供の具体的な姿」については、授業研究会で確認し、加除修正しながら完成させていく。</p> <p><b>(3) 学びの履歴の活用</b></p> <p>授業の中で、子供の意識に沿った学習課題・単元構成、場の設定、効果的な関わりを持たせ方・表現になっていたかを振り返り、考察したことを学びの履歴に記録し、事後研究会で話し合いでも活用し、研究を深めていく。</p>																		
<b>研 究 の 計 画</b>	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">第1回授業研……</td> <td style="width: 30%;">6月下旬</td> <td style="width: 40%;">5年（ボール運動）</td> </tr> <tr> <td>第2回授業研……</td> <td>11月2日</td> <td>6年・やまゆり（ボール運動）</td> </tr> <tr> <td>第3回授業研……</td> <td>11月2日</td> <td>1年・こでまり（器械・器具を使つての運動遊び）</td> </tr> <tr> <td>第4回授業研……</td> <td>12月上旬</td> <td>3年・やまゆり（器械・器具を使つての運動遊び）</td> </tr> <tr> <td>第5回授業研……</td> <td>12月中旬</td> <td>4年・やまゆり・かたくり（ボール運動）</td> </tr> <tr> <td>第6回授業研……</td> <td>12月中旬</td> <td>5年（ボール運動）</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年で授業研究を行い、子供の姿を通し研修を積み重ねていく。</li> <li>○ 単元を通して目指す「主体的・対話的で深い学び」のある姿について具現化し、授業づくりの視点としていく。</li> <li>○ 事前研究会の充実を図る。その際、授業の視点を明らかにして検討し合う。 また、事前研のメンバー以外も授業研前後の授業も見合い、子供の変容を見取る等、全員で授業をつくっていく。</li> <li>○ 授業では、子供のつぶやきや表情、行動や変容、関わりの中から出た言葉など、子供の姿から学ぶようにする。</li> <li>○ 事後研究会では、授業の視点に沿って話し合っていく。また、成果と課題を明らかにして、授業者も参加者も次の授業づくりに生かせるものになるよう検討していく。</li> <li>○ 11月2日に、令和5年度全国学校体育研究大会の授業発表を実施する。</li> </ul>	第1回授業研……	6月下旬	5年（ボール運動）	第2回授業研……	11月2日	6年・やまゆり（ボール運動）	第3回授業研……	11月2日	1年・こでまり（器械・器具を使つての運動遊び）	第4回授業研……	12月上旬	3年・やまゆり（器械・器具を使つての運動遊び）	第5回授業研……	12月中旬	4年・やまゆり・かたくり（ボール運動）	第6回授業研……	12月中旬	5年（ボール運動）
第1回授業研……	6月下旬	5年（ボール運動）																	
第2回授業研……	11月2日	6年・やまゆり（ボール運動）																	
第3回授業研……	11月2日	1年・こでまり（器械・器具を使つての運動遊び）																	
第4回授業研……	12月上旬	3年・やまゆり（器械・器具を使つての運動遊び）																	
第5回授業研……	12月中旬	4年・やまゆり・かたくり（ボール運動）																	
第6回授業研……	12月中旬	5年（ボール運動）																	